

2025 年 02 月 25 日 (火) 【外為 L a b】松田哲
タイトル: 【キャリー・トレードのアンワインドに留意】

現在 (2025 年 2 月) の主要通貨の政策金利は以下の通り。

円 (JPY) の政策金利は、0.50%

ドル (USD) の政策金利は、4.25%~4.50%

ユーロ (EUR) の政策金利は、2.90%

ポンド (GBP) の政策金利は、4.50%

豪ドル (AUD) の政策金利は、4.10%

見ての通りに、円の政策金利が、突出して低い。

+++++

そもそも、『金利とは、何か?』と考察すると、それは、『インフレ率』に収斂する、と考えます。

それゆえに、現時点で、ドル (USD)、ポンド (GBP)、豪ドル (AUD) の各国のインフレ率は高い、と判断できます。

それに対して、円 (JPY)、ユーロ (EUR) の国々は、相対的にインフレ率が低いことになります。

ただし、その判断は現時点でのものであり、例えば、日本のインフレが加速して上昇している事実を考慮すれば、円 (JPY) の政策金利は、今後、上昇するだろう、と推測できます。

前回の政策金利の変更で、ユーロ (EUR) の政策金利が引き下げられたことを考えると、ユーロ (EUR) の国々は、インフレよりも、景気後退を危惧しているのだろう、と推測できます。

+++++

低金利通貨を借り入れして、高金利通貨に交換し、それを運用するキャリー・トレードは、いつの時代も重要な運用方法の一つです。

このキャリー・トレードの手法で、低金利の円 (JPY) から、高金利のドル (USD) などへの投資は、この数年で、積極的に行われてきました。

現時点では、まだ、キャリー・トレードは拡大傾向にある、と考えています。

しかし、既に述べたように、今後、円（JPY）の政策金利が上昇していくのならば、キャリー・トレードによって、膨らんできた高金利通貨への投資は、終了に向かうことになる、と考えます。

+++++

繰り返しますが、現時点では、円（JPY）の政策金利は、突出して低い状況です。

そして、円（JPY）の政策金利が引き上げられるとしても、その利上げ幅は相対的に小さいであろう、と推測できます。

だから、少しばかり、円（JPY）の政策金利が引き上げられたとしても、高金利通貨と比べると、その金利差は、大きいままである、と推測できます。

+++++

しかしながら、円（JPY）の政策金利が、今後、断続的に上昇していく場合は、キャリー・トレードが縮小していくことになります。

そして、過去にキャリー・トレードによって運用されていた資金が、回帰される可能性も高くなります。

つまり、この資金回帰とは、分かり易く言えば、高金利通貨から、円（JPY）へ戻す、ということです。

+++++

+++++

キャリー・トレードを終わらせて、資金を元に戻すことを、「キャリー・トレードのアンワインド」と呼びます。

何度も繰り返しますが、現時点では、まだ、キャリー・トレードは拡大傾向にある、と考えています。

けれども、「キャリー・トレードのアンワインド」が起こる可能性が高まっていることに大いに留意する必要がある、と考えています。

+++++

(2025 年 02 月 25 日東京時間 15 : 05 記述)